

2026年度版

学位申請の手引

(博士前期課程)

筑波大学大学院  
図書館情報メディア研究科  
2026年4月

図書館情報メディア研究科博士前期課程修了者にかかる学位論文審査日程

2026年9月修了	2027年3月修了	事項	審議 会議	審 査 委員会	提出物等
2025年12月4日(木)	2026年7月16日(木)	学位論文中間発表会			プログラムは1週間前頃に周知予定。
2026年4月20日(月)9:00- 2026年4月22日(水)12:00	2026年11月16日(月)9:00- 2026年11月18日(水)12:00	学位論文題目届のPDF等を manabaに提出			【manabaに学位論文題目届のPDFを提出】 ・押印をしたうえで、スキャンしてデータを取り込み、 PDFをmanabaに提出 ・題目は、論文本体の言語に合わせること 【manabaに学位論文題目を登録】 ・登録する題目は、題目届と完全に一致させる
2026年6月1日(月)9:00- 2026年6月3日(水)12:00	2026年12月14日(月)9:00- 2026年12月18日(金)12:00	学位論文のPDF等をmanabaに 提出			【manabaにPDFを提出】 ①学位論文審査願 ②学位論文 ③論文公正に関する確認書 ④倫理審査に関する報告書 ⑤学位論文の電子図書館システム(つくばリポジトリ)登録書 ・①、③、④は押印を、⑤は署名をしたうえでスキャンしてデータ を取り込み、PDFにする  【manabaに学位論文題目を登録】 ・先に登録した学位論文題目を変更することができる (先に登録した学位論文題目に変更がない場合も、改めて登録す る) ・登録する学位論文題目は、論文PDFの題目と完全に一致させる ・題目の和訳または英訳も別途登録する
2026年6月18日(木)	2027年1月14日(木)	学位論文最終発表会		学位論文審 査委員会	プログラムは1週間前頃に周知予定。 現地開催の場合、社会人特別選抜で入学した学生は発表場所とし て春日または東京のいずれかを選択可。
2026年6月29日(月) 9:00-17:00	2027年1月25日(月) 9:00-17:00	(審査委員会で指摘された場合 のみ)学位論文題目変更届の PDFおよび修正論文題目を manabaに提出・登録			論文審査委員会に指摘された場合のみ、学位論文題目変更届を 提出し、manabaに修正論文題目を登録する。あわせて、題目を修 正した学位論文の電子図書館システム(つくばリポジトリ)登録書も 再提出する。  * 題目の変更はつくばリポジトリには反映されるが、正式な修士論 文の題目としては反映されない。
2026年6月19日(金)9:00- 2026年7月1日(水)17:00	2027年1月15日(金)9:00- 2027年1月27日(水)17:00	学位論文及び概要の修正			論文審査委員会からの指摘に基づいて学位論文と概要の修正を 行い、指導教員からの確認を受け、manabaにPDFを提出する。論 文審査委員会主査が必要と判断した場合は、論文の修正に合わ せ、以下の書類を再度提出する。(詳細は手引きを参照すること) ・論文公正に関する確認書 ・倫理審査に関する報告書
2026年7月8日(水)	2027年2月10日(水)	学位論文審査結果の審議及び 課程修了認定	研究科運営 委員会		
2026年9月25日(金)	2027年3月25日(木)	学位記授与式			
2027年9月	2028年3月	つくばリポジトリで公開			

## 学位申請の手引

### (博士前期課程)

学位論文の審査（最終試験等を含む。以下「論文審査等」という。）の申請をする場合は、この手引に従って手続きを行う。

#### 1 修士の学位

##### (1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

学位は、筑波大学大学院学則で規定する課程の目的を充足した上で、図書館情報学又は情報学分野において、それぞれ定められた能力を有することが認定された者に授与される。図書館情報メディア研究科で授与される修士の学位は図書館情報学又は情報学である。

##### (2) 論文審査等の申請要件

図書館情報メディア研究科博士前期課程（以下「博士前期課程」という。）に在学中の学生は、論文審査等を受けるために、次の要件をすべて満たしていなければならない。

- 1) 博士前期課程に2年以上在学した者又は在学見込みの者。
- 2) 博士前期課程の所定の科目について30単位以上修得した者又は修得見込みの者。
- 3) 研究指導教員から所定の研究指導を受け、学位論文中間発表会で発表を行い、論文審査等の申請について、当該研究指導教員から承諾を得ている者。
- 4) 学位論文題目届（別記様式-前1）を提出した者。
- 5) eAPRIN等の受講を完了した者。

##### (3) 学位論文審査の申請

論文審査等を受けようとする者は、次に掲げる書類を添えて、指定された提出日に図書館情報メディア研究科長に審査を願い出ること。

なお、学位論文の作成に当たっては、3ページ以降の「学位論文等の作成要領」に従うこと。

- ①学位論文審査願（別記様式-前2）
- ②学位論文（仕様については3ページ以降の「学位論文等の作成要領」に従うこと）
- ③論文公正に関する報告書（別記様式-前4）
- ④倫理審査に関する報告書（別記様式-前5）
- ⑤学位論文の電子図書館システム（つくばリポジトリ）登録書  
（別記様式第5号(第9項関係)）

##### (4) 学位論文

学位論文は学位申請者による単著とし、日本語又は英語で書かれたものであること。

\* 共著の論文の内容を学位論文に含める場合は、共同研究者に許諾を得る。

(5) 論文審査等の方法

論文審査等は、学位論文ごとに設置される学位論文審査委員会が論文の内容、公開による学位論文発表会、最終試験を総合的に判断して行う。

- 1) 学位論文ごとに設置される学位論文審査委員会は主副研究指導担当教員と運営委員会が指名する大学院担当教員の3人で構成される。
- 2) 公開による発表は質疑応答を含めて30分程度行う。
- 3) 最終試験は、学位論文を中心に、その関連分野について口述又は筆記により行う。ただし、公開の学位論文発表会をもって、口述試験に代えることができるものとし、必要がある場合は、更に口述試験又は筆記試験を行う。

(6) 学位授与

修士の学位は、博士前期課程に2年以上在学し、所定の科目について30単位以上修得し、かつ、論文審査等に合格した者に授与する。

(7) 学位論文および概要の公表

学位を授与された者の学位論文は、1年後に「つくばリポジトリ」で公表する。

## 2 注意

(1) 論文公正に関する報告書について

論文提出者は、研究倫理に関する教育を受講したこと、剽窃等の不正行為が無いことを確認する。また、研究指導教員の監督のもとで、論文剽窃チェックツール「iThenticate」による確認も行い、「論文公正に関する報告書」に論文提出者が署名して提出する。

「iThenticate」以外のチェックツールは認めない。「iThenticate」は、論文提出者が単独で利用することはできない。

虚偽の申請、論文の盗作などが発覚した場合、論文審査等は中止となる。学位授与後に発覚した場合は、学位取り消しとなる。どちらも懲戒処分の対象となる。

(2) 論文の修正について

提出後に学位論文の修正を行う場合は、学位論文審査委員会の指摘に基づきながら、研究指導教員の指導・確認をうけて修正し、所定の期限までに再提出する。

修正後に再度、論文剽窃チェックツール「iThenticate」により確認し、「論文公正に関する報告書」を再提出する。(誤字等の軽微な変更の場合は再提出を要さない。再提出の必要性は、学位論文審査委員会主査が判断する。)

また、「倫理審査に関する報告書」も再提出する。(誤字等の軽微な変更の場合は再提出を要さない。再提出の必要性は、学位論文審査委員会主査が判断する。)

## 学位論文等の作成要領

論文審査等を願ひ出る者は、この作成要領に従って書類を作成すること。

### 1 学位論文

1) 学位論文は、A4縦判とし、使用言語は日本語又は英語とする。

2) 表紙

記載事項及び記載方法は、後述の「表紙の作成要領」に従う。表紙及び標題紙の氏名の表記(アルファベットの表記を含む)は、TWINSに登録されているものとする。

3) 学位論文の構成

学位論文は以下の構成とする(\*は無くともよい)：

- ① 表紙
- ② 学位論文概要
- ③ 標題紙：記載事項及び記載方法は、後述の「標題紙の作成要領」に従う。
- ④ 目次
- ⑤ 図表の目次\*
- ⑥ 本論(結論を含む)
- ⑦ 謝辞\*
- ⑧ 文献リスト
- ⑨ 付録\*

4) 倫理審査の承認を受けた内容を学位論文に含める場合は、本論の脚注等で承認を受けている旨を明記する。

(記載例)

Wordの場合

～に関する利用者実験

脚注 {筑波大学図書館情報メディア系倫理審査通知(承認)番号 第xx-xx}を行った。

Texの場合

～に関する利用者実験

¥footnote {筑波大学図書館情報メディア系倫理審査通知(承認)番号 第xx-xx}を行った。

### 2 学位論文概要

学位論文概要は、後述の「論文概要の作成要領」に従って記載し、学位論文の標題紙の前には学位論文概要を綴じ込む。論文題目については日本語題目と英語題目を書く。論文概要については日本語又は英語で記述し、参考文献を含めない。氏名の表記(アルファベットの表記を含む)は、TWINSに登録されているものとする。

なお、学位論文概要の使用言語は学位論文本文と異なってもよい。

表紙の作成要領（日本語の場合）

# 図書館情報メディア研究科修士論文

（20 ポイント，下線，中央揃え）

## 論文題目

—図書館情報メディア研究科の場合—

（20 ポイント，中央揃え）

20XX 年 XX 月

20XX21XXX

氏 名

（20 ポイント，下線，中央揃え，年月は学位を授与される月，氏名は TWINS 登録の表記とすること）

表紙の作成要領（英語の場合）

**Master's Thesis in Graduate School of Library,  
Information and Media Studies**

（20ポイント，下線，中央揃え）

**Title**

（20ポイント，中央揃え）

**Month Year**

**20XX21XXX**

**Name**

（20ポイント，下線，中央揃え，年月は学位を授与される月，氏名はTWINS登録の表記とすること）

標題紙の作成要領（日本語の場合）

## 論文題目

(20 ポイント, 中央揃え)

筑波大学大学院  
図書館情報メディア研究科  
20XX年XX月  
氏名

(20 ポイント, 中央揃え, 年月は学位を授与される月, 氏名は TWINS 登録の表記とすること)

標題紙の作成要領（英語の場合）

## **Title**

(20 ポイント, 中央揃え)

## **Name**

(20 ポイント, 中央揃え, 氏名は TWINS 登録の表記とすること)

**Graduate School of Library,  
Information and Media Studies  
University of Tsukuba**

## **Month Year**

(20 ポイント, 中央揃え, 年月は学位を授与される月)



